



# みんなのしおり

第120号 新年おめでとう号

巻頭エッセイ

## 山田図書館の山田です！

「山田図書館の山田さんですか、覚えやすくいいですね」というお声をよくいただきます。時には聞き間違いと思われるのか「えっ？」と聞き返されたり、「ひょっとして館長さんですか」となぜか勘違いされたり(実は初代山田図書館長は本当に山田さんでした)、図書館見学に来た小学生からは「おもしろいね」と言われたり、名前だけでこんなに反応していただけることに驚きを感じつつも、自分の名前と同じ図書館で働ける幸せを日々かみしめています。

昨年は山田図書館が開館20年を迎えたことを記念して、全国の山田図書館(岩手県、富山県、大阪府、福岡県にも山田図書館はあるのです)を紹介する展示や、山田本(作者や登場人物が山田さんなど山田に関する本)の特集展示を担当したこともあり、いつも以上に山田と向き合う年になりました。

今年も皆さんにより愛される山田図書館と山田を目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

山田図書館の山田がおすすめする山田本

『山田県立山田小学校 1』山田マチノ作 あかね書房

タイトルコード:1001310038189

山田県山田町にある山田小学校を舞台としたゆかいな物語のシリーズ。  
「山田図書館の山田さん」がおもしろいと思った小学生におすすめ。

『日本人のおなまえっ! 1』NHK「日本人のおなまえっ!」制作班/編

集英社インターナショナル タイトルコード:1001710050696

マンガの登場人物などでは平凡な名前として扱われがちな山田姓の魅力を  
様々な角度から検証しています。

(山田)

## ☆マルチメディアデジシーを受入しました☆

マルチメディアデジシーは、パソコンやタブレットで読書を楽しむ、電子図書のひとつです。

読むときは、表示された文字を音声で聞きながら、画像でさし絵や写真を見ます。読み上げているフレーズの色が変わるので、どこを読んでいるのかわかりやすく、文字の大きさや音声のスピードも変えられます。弱視、難聴、肢体不自由、学習障害など読み書きに支援が必要な方に、幅広く利用していただけます。

内容は、ごんぎつね、昔話、写真科学絵本など。  
どうぞご利用ください。



## ★12/13(土)、「読み書きが苦手なお子さんの相談会」実施★

NPO 法人ディスレクシア協会名古屋さんの協力のもと、定期的開催しています

～アンケートより～「娘の支援に行き詰まりを感じていました。道が開けるかもしれないという光を感じています」「検査結果をもとに専門的なアドバイスをいただけて勉強になりました」

## ★読書を助けてくれる道具★

シニアグラス、ルーペ、リーディングトラッカー、拡大読書器をご用意しています。

どうぞお声がけください。



読みやすい！  
リーディングトラッカー



文字を大きく！  
拡大読書器



発行:名古屋市山田図書館

〒452-0815

名古屋市西区八筋町358-2

電話 052-503-5340

ファクシミリ 052-503-5341

古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

## ★実施しました★



### ▶やまだとしょかんまつり 10/4(土)

耳で楽しむおはなし、わらべうた、絵本や紙芝居がたっぷり。とてもゆかいました。びゅんびゅんごまも作って遊びました。



上手だね



こまにシールをはりました



### ▶子ども司書 10/25(土) 11/8(土)

小学生のみなさんに、図書館の仕事を体験したり、ふだんは入れない返却ポストや書庫、対面読書室の見学をしたりしていただきました。さいごに修了証をもらって、りっぱな子ども司書になりました！



本にビニールのカバーを、かけました



かしだし・へんきやくの仕事をしました

### ❖ おりがみ傑作選 4 おってあそぼう!!編 ❖ 日本折紙協会



この馬(伝承)は、上手に指先でしっぽをはねあげると、くるっと1回転して、スタッと立ちます。着地がピタリと決まる姿がかっこいいですよ。(1009915067363)

## 地球の仲間

里に現れるクマや万博会場のユスリカが話題となった昨年。『僕には鳥の言葉がわかる』鈴木俊貴(小学館)もベストセラーとなりました。生き物に魅了され、その生態に迫ろうとする人々の、熱い著作をどうぞ

### ❖ うまご 馬語手帖 ウマと話そう ❖

河田棧/文と絵 カディブックス

人に従わせる命令のことばでなく、馬どうしが交わしている馬語を学びましょう。馬語を理解して接すると、馬が「お！」と驚くそうですよ！立ち位置、心持ち、テンポ、匂い…五感を使う馬語は、草原の風のように。新鮮な感覚です。

(1001310064800)

### ❖ クマにあったらどうするか

アイヌ民族最後の狩人姉崎等 あねざきひとし ❖  
姉崎等/語り手、片山龍峯/聞き書き 筑摩書房

アイヌのクマ撃ちで、「クマは師匠」と言う姉崎さん。クマの足跡をひとりで一生懸命追っていくうちに、山の歩き方やクマの知恵・行動などをすべて学んだといいます。

「生涯で一番危険だったクマの話」で示される彼の胆力には度肝を抜かれること必至。その彼がクマ対処法や、組み伏せられてもできることを、経験に基づいてたっぷり語ります。

狩人の知恵・クマの知恵、本当のクマの姿、クマと共存するにはなど、どんな話にも借りものではない言葉の力があり、興味が尽きません。

(1001310145455)

### ❖ 昆虫学者、奇跡の図鑑を作る ❖

丸山宗利/著 幻冬舎

子ども向け図鑑の発行が活況を呈し、素晴らしい図鑑が次々刊行されていることをご存知ですか。その中で、子どもたちのために、標本ではなく生きたままの昆虫を、白いバックで撮影する企画が始まりました。撮影期間は1年間。は!?無理では…しかし全国には紙魚(しみ:本の頁を這っているあの虫)を飼育するなど、あらゆる昆虫の愛好者・専門家がいるんですね。どんどん昆虫が集まってびっくりです。

ハエをじっとさせる工夫、トンボの姿をシャキッとさせるコツなど撮影の試行錯誤も興味深く、持ち運ぶと傷んでしまう蛾を、特製の装置でもって野外で撮影している姿は、私の一押しです(144ページ)。臨場感あふれる、図鑑作成の全記録です。

(1002210047497)

### ❖ 犬 イヌはぼくらの友だちだ ❖

畑正憲/作・絵 講談社

本書でムツゴロウさんは、口先だけで犬をほめるのはよくない、と言います。「心の底から、涙が出そうになるくらい感情をこめ」てほめるのだ、と。そう、「ようしよしよしよしよし(以下略)！」です。野良の子“猫”を預かっていた私は全力で真似しました。と、どうでしょう。たちまち猫の瞳の色が深まるではありませんか！何かが全く違う…気持ちが伝わる手ごたえ…それから毎日よーしよし。ムツゴロウさんの才能に感服。本書を紹介する所以です。

(1009910035151 児童書)